

平成29年度 第4回文京区地域福祉推進協議会保健部会 要点記録

日時 平成29年10月24日（火）午後2時から午後3時まで

場所 文京シビックセンター24階 第一委員会室

<会議次第>

I 開会

II 議題

(1) 保健医療計画の改定について

①保健医療計画の中間のまとめ（案）

【資料第1号】

(2) その他

III 閉会

<地域福祉推進協議会保健部会員（名簿順）>

出席者

高野 健人 会長、中村 宏 委員、佐藤 文彦 委員、三羽 敏夫 委員、川又 靖則 委員、橋本 初江 委員、柴藤 徳洋 委員、青木 秀子 委員、坂庭 富士雄 委員、渡辺 泰男 委員、諸留 和夫 委員、黒住 麻理子 委員、松尾 裕子 委員、山下 美佐子 委員、川田 智之 委員、西村 久子 委員、堀江 久美 委員

欠席者

金 吉男 委員、鳶巣 賢一 委員、田中 ひとみ 委員、蒲原 睦 委員、神馬 征峰 委員、谷川 武 委員、小山 榮 委員、増山 里枝子 委員、田中 純一 委員

<事務局>

出席者

石原保健衛生部長、浅川生活衛生課長、境野健康推進課長、渡瀬予防対策課長、内藤保健サービスセンター所長、真下認知症・地域包括ケア担当課長

欠席者

0名

<傍聴者>

1名

I 開会

開会・出欠状況・配付資料の確認・会長への進行依頼（議事省略）

II 議題：(1)保健医療計画の改訂について

浅川課長：(1)保健医療計画の改訂について【資料第1号】の説明（議事省略）

諸留委員：5点あります。1つ目は計画全体で平成という元号が使われていますが、平成は近いうちになくなると思われます。このままで良いのでしょうか。2つ目は統計で使われている悪性新生物について、これをがんと表記してはどうでしょうか。3つ目は統計のDMF T指数という言葉がわかりづらいので、わかりやすくしてほしいです。4つ目はかかりつけ医という言葉についてですが、大学病院等では医師は異動があるので同じ先生では必ずしもありません。かかりつけ医療機関としたほうが良いのではないのでしょうか。5つ目は食育の項目の図表について、右下に「保健所・行政」とあるが「行政・保健所」のほうが良いのではないのでしょうか。

高野会長：悪性新生物にはがんだけではなく、例えば肉腫等も含まれますので、統計上一括してこのような表記をしています。

浅川課長：元号については、他計画との調整もありますので、検討してみます。

高野会長：DMF Tについては、もう少し易しい言葉になるかを検討してみてください。

境野課長：かかりつけ医については、かかりつけ医という言葉が浸透しているのでこのままいきたいと思います。食育の図表部分のご指摘のとおり修正いたします。

諸留委員：かかりつけ医のところは、注釈で大きな病院等の医療機関も示すということを加えていただけないでしょうか。

高野会長：このままでも問題ないように感じますが、検討をお願いします。

私からは1-4-4について、「女性は妊娠・出産や女性特有の疾患を経験する可能性があるなど」という表現がすこしわかりづらく感じますので、ご検討いただきたいです。

佐藤委員：進行管理対象事業の歯周疾患検診で、現状の受診率が10.6%、目標が12%となっています。他の地区の歯科医師会では10%を切るころもある中、12%までどのように上げるのでしょうか。

境野課長：前回計画では、平成23年に10.4%、目標値を15%としていました。ただ15%は難しいので、今回は現実的な数値の12%に設定しました。この目標に向けて、区報での周知や、郵便の封筒を目立つようにするなど、工夫したいと思います。

高野会長：2点あります。1つ目は1-1-3についてです。休養するために睡眠は当然大事ですが、それだけが休養ではありません。余暇の過ごし方も重要だと思います。そのため、この項目にアクティブレス

トの観点も入れてみてはどうでしょうか。

2点目はがん検診です。文京区では区のがん検診だけではなく、人間ドックや他のがん検診を受けている方もいます。がんによる死亡率を減らすことが目的なら、他のがん検診でも構わないわけですが。ここでは各種がん検診の各種が全て文京区のものになっているので、それだけではなく、他の検診も含めての各種がん検診としてはどうでしょうか。

坂庭委員：1-4-2の発達健診について、保健師さんが健診等で、発達障害と感じたときどのような動きをしているのでしょうか。

内藤所長：4か月から3歳までの乳幼児に対し定期健康診断を行っています。その中で保健師が情報を得て、教育センターや子ども家庭支援センター等の関連機関につないでいます。

坂庭委員：発達障害等は個人情報なので、区の関係機関であっても連携の際には取扱が難しいと思います。ただそういった情報は、教育機関等で適切な対応をとるために必要な情報でもあります。

内藤所長：確かに個人情報ですので取扱は十分注意をしています。例えば関連機関につなげる際も、保護者に対し丁寧に説明し了承をとってから情報共有をしています。

柴藤委員：3-6について、「人、動物、環境の健康」という言い回しが少ししっくりこないので検討していただきたいです。

黒住委員：1-4-2の乳幼児健康診査で、1歳半と3歳児健診の目標もあげたほうが良いと思います。

中村委員：1-2-2の健康診査・保健指導について、現状値が11%で目標が60%となっていますが、理由があるのでしょうか。

境野課長：区によっても確かに目標値は様々ですが、国の目標が60%ということなのでそちらにあわせています。

三羽委員：2-4-1で医療的ケア児とありますが、何か定義があれば書いたほうがわかりやすいと思います。

Ⅲ 閉会

浅川課長：それでは、これをもちまして、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上